

ARTPARA
FUKAGAWA



Artist: 奥亀屋一慶 Title: 妹とけんかをしない人を演奏するソニーロリンズ

ARTPARA FUKAGAWA 2024
アートパラ深川大賞 2024・応募要項

2024年アートパラ深川大賞 応募要項

アートの力が人々を引き寄せ、おしゃべりを楽しみ、お互いを認め合い、支え合う。

「当たり前と共に生きる」社会を目指す手作りのアートフェスティバル、

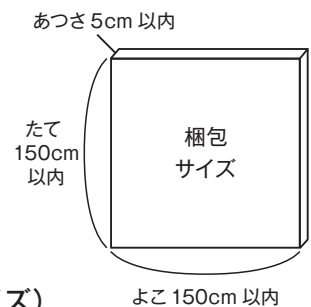
それが「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」です。

その中で開催している「アートパラ深川大賞」は、無限大の可能性をもつアーティストが紡ぐアートの魅力を社会に伝えることを目的にしています。

「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」は毎年開催しています。

全国公募展「アートパラ深川大賞」は、隔年開催になります。

- [応募資格] 社会生活において何らかの障がいのある方
(年齢制限なし、障がいの内容や程度は審査に影響しません)
- [受付期間] 2024年4月～2024年6月20日当日消印有効
- [応募点数] 1人1作品(グループでの応募可、その場合は1グループ1作品)
- [応募テーマ] 自由(お好きなテーマでご応募ください)
- [出品規格] 作品サイズ:縦横それぞれ150cm以下(額装を含む梱包時のサイズ)
厚さ約5cm以内(突起物など不可、壁にかけて展示できるもの)
- [応募料金] 無料(応募書類や入選作品の送料は応募者負担、ただし返却費用は主催者で負担します)
- [審査方法] 1次審査:画像データまたは写真による審査(入選点数140作品程度)
2次審査:実物作品による審査(入賞点数40作品程度)
(1次審査通過者へは、7月上旬に別途発送方法等連絡いたします)
- [応募方法] アートパラ深川おしゃべりな芸術祭公式ホームページ内、応募要項のなかにある【応募フォーム】
より必要事項を記載し、作品画像データを添付の上、ご応募ください
<http://www.artpara-fukagawa.tokyo>
フォームでの対応が難しい場合は郵送も可能です(詳しくは事務局までお問い合わせください)
- [注意事項] ◎応募作品は、応募者によるオリジナル作品で、過去に受賞歴のないものに限り
また、他の賞に応募中のものは対象外です
◎著作権、商標権、肖像権、その他の権利を侵害しないものに限り
◎危険・有害の恐れのある作品(鋭い突起など)腐敗やにおいの出るもの(乾燥していない植物等)
を使用した作品の応募はご遠慮ください。危険・有害の恐れがあると判断した場合は返却いたします
- [承諾事項] 【入選作品保管・返却】審査を経て送付された入賞・入選作品は、返送するまでの期間、主催者の管理下
で一時保存しますが、不慮の損害(破損・汚損等)についてはいかなる場合も責任を問わないものとします。
◎返却費用は主催者で負担します ◎損害保険には加入済みです
◎返却時には応募時の梱包を再利用しますので、
作品の保護には十分配慮し、梱包、発送をお願いいたします。
◎管理のために梱包材や作品の裏にシールにて管理番号を貼付することがあります



◎スペシャルアドバイザー：コシノジュンコ（デザイナー）

- [特別審査員] 林真理子（作家）、假屋崎吾吾（華道家）、いとうせいこう（編集者、小説家）、杉本志乃（アートコンサルタント）、中津川浩章（アーティスト）
- [賞・芸術活動支援金] 入賞：大賞1点（50万円）・準大賞1点（30万円）、審査員特別賞5点（各5万円）、協賛企業賞30～40作品程度
- [授賞式] 2024年10月19日（土）東京都江東区・森下文化センター（詳細別途案内）
- [作品展示] 入選作品（1次審査通過作品）及び入賞作品（2次審査通過作品）は、深川江戸資料館・レクホールと深川不動堂・ロータスホールの2箇所に展示します
展示期間：2024年10月19日～10月27日（すべて入場無料）
※2025年以降、街なかアート（レプリカ作品）として江東区内に展示します
- [AMF] 入賞アーティスト（2次審査通過者）は、2025年の「AMF（アートパラ・マーケット・フェア）」（ミニ個展）にて販売が可能です
◎販売は実行委員会がサポート、売り上げは全額アーティストにお渡しいたします
- [二次利用] ◎大賞作品は2025年のメインビジュアル、準大賞作品は2026年のメインビジュアルとして各種広報に使用させていただきます
◎その他、協賛企業・地域などからのご要望によるレンタルや販売、グッズ制作等のオフアがある場合があります（いずれも事前にアーティストに連絡・相談させていただきます）
- [次回の募集] 2026年4月～7月頃を予定しています
- [作品の著作権] 入選・入賞作品は、新聞、雑誌、テレビ、ホームページなどの広報活動、本公募展に関する報告資料・記録資料、街なかアートとしての展示、次回の芸術祭に向けたビジュアルとして無償で利用させていただきます場合があります。また利用に際して、入選・入賞作品の内容・表現・題号の変更、著作権の部分使用、入選・入賞者の氏名表示省略等を行う場合があります。※著しい改変や変更を行う場合には、事前にアーティストに連絡します。
- [個人情報の取扱い] 応募時にご登録いただいた個人情報に関しては、入選・入賞の連絡、及び作品の返却と個人を特定しない統計として利用させていただき、ご本人または代理の方の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示しません。
- [主催] アートパラ深川おしゃべりな芸術祭実行委員会、一般社団法人アートパラ深川

お問い合わせ

[お問合せ] ご不明な点はメールにてお問い合わせください

Email : competition@artpara-fukagawa.tokyo

〒135-0045 東京都江東区古石場 3-11-17 福島デザイン内 アートパラ深川大賞2024

TEL : 03-4400-9298

[アートパラ深川おしゃべりな芸術祭ウェブサイト]

<http://www.artpara-fukagawa.tokyo>

応募要項はウェブサイトからダウンロードできます



作品応募から芸術祭までの流れ

	イベント	2次審査	1次審査		
			作品送付	結果連絡	募集期間
2024年 4月					4月～6月20日(当日消印有効) ウェブサイトの応募フォームから作品情報と画像を送信、または応募用紙と作品の写真を郵送してください
5月					
6月					
7月			入選者は7月17日(水)、もしくは24日(水)に必着するように 配達日指定で作品(原画)を送付してください	6月末～7月上旬に1次審査結果(入選連絡)をメールまたは郵送で通知します	
8月		8月6日に入選作品から入賞作品を選ぶ2次審査を行います 入賞者への連絡は8月中旬頃の予定です			
9月					
10月					
11月	10月19日～27日・アートパラ深川おしゃべりな芸術祭 ※入賞・入選作品の原画を芸術祭期間中に展示します 芸術祭初日・10月19日授賞式 場所：東京都江東区森下文化センター				
12月					
2025年 1月					
2月					

※ 入選・入賞作品の取り扱い、著作権、個人情報等の取り扱いについては応募要項をご覧ください。

審査員 ※順不同



林 真理子

Mariko Hayashi
作家



假屋崎省吾

Shogo Kariyazaki
華道家



いとうせいこう

Seiko Ito
作家／クリエイター



杉本志乃

Shino Sugimoto
アートコンサルタント



中津川浩章

Hiroaki Nakatsugawa
アーティスト／アートディレクター

1954年4月1日、山梨県に生まれる。1976年日本大学芸術学部文芸学科を卒業。コピーライターを経て、1982年エッセイ集『ルンルンを買ってうちに帰ろう』を出版。1984年処女小説『星影のステラ』が直木賞候補に選出されたことを機に、執筆業に専念。1985年『最終便に間に合えば』『京都まで』により第94回直木賞を受賞。1995年『白蓮れんれん』により第8回柴田錬三郎賞を受賞。1998年『みんなの秘密』により第32回吉川英治文学賞を受賞。2000年直木賞選考委員に就任。他、数々の文学賞の選考委員を務める。2011年レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受賞。2013年『アスクレピオスの愛人』により第20回島清恋愛文学賞を受賞。2018年紫綬褒章受章。『2020(令和2)年、第68回菊池寛賞受賞、また『同一雑誌におけるエッセイの最多掲載回数』においてギネス世界記録認定を受ける。』

假屋崎省吾花教室主宰。美輪明宏氏より『美をつむぎだす手を持つ人』と評され、日本初の「華道家」として世界各地で「いけばな」を広める活動にも精励する。クリントン大統領来日時、明仁天皇御在位10年記念式典、明仁天皇御退位・徳仁天皇御即位スタジオ装花、花博覧会のプロデュースなどを手掛け、女子美術大学・客員教授、フランス観光親善大使、オランダチューリップ大使などを務め、「シンビジウムのコサージュ展示(7,585個)」の世界ギネス記録にも認定される。着物、ガラス器、ジュエリー、棺、骨壺などのデザイン・プロデュースをおこない、デザイナーとしての才能を発揮。また、ライフワークでもある花と建物のコラボレートとなる個展“歴史的建築物に挑む”を開催、世界でも展覧会を開催し国内外で目覚ましい活動を展開している。その他、「花育」「少子化問題」「伝統工芸品の振興促進」などの地域活性を促す社会ボランティア活動も積極的に取り組み、華道歴40年を迎え益々活躍の場を広げている。

假屋崎省吾 花教室 銀座校オープン！
お問い合わせ：03-6712-6873
<http://www.kariyazaki.jp/>

1961年生まれ、東京都出身。1988年に小説『ノーマライキング』でデビュー。1999年、『ボタニカル・ライフ』で第15回講談社エッセイ賞受賞、「想像ラジオ」で第35回野間文芸新人賞受賞。近著に『鼻に挟み撃ち』『国境なき医師団』を見に行く』『小説禁止令に賛同する』『ど忘れ書道』『カザ、西岸地区、アンマン』『福島モノローグ』『今すぐ知りたい日本の電力』『東北モノローグ』などがある。みうらじゅんとは共作『見仏記』で新たな仏像の鑑賞を発信し、武道館を超満員にするほどの大人気イベント『ザ・スライドショー』をプロデュースする。現在はnoteで「ラジオご歓談!」を配信中。

音楽活動においては日本にヒップホップカルチャーを広く知らしめ、日本語ラップの先駆者の一人である。現在は、ロロロ(クチロロ)、音遊びの会、いとうせいこう is the poet で活動。いとうせいこう is the poet ファーストアルバム『ITP1』が発売中。テレビのレギュラー出演に『ビットワールド』(Eテレ)、『楽しく学ぶ!世界動画ニュース』『フリースタイル日本統一』(テレビ朝日)、『新TV見仏記』(関西テレビ)などがある。Xアカウント:

<https://twitter.com/seikoito/>

アートコンサルタント。ロンドン Sotheby's Institute にて装飾美術・現代美術コース終了。吉井画廊、hiromi yoshii勤務後、2009年(株)FOSTER設立。美術品販売及び利活用に関するコンサルティング業務を行う。2017年『アール・ブリュット?アウトサイダー・アート?それとも?そこにある価値』展、2019年『現代アウトサイダー・アートリアルー現代美術の先にあるもの』をGYREGALLERYにて主催。2017年日本財団主催「障がい者芸術フォーラム」パネリスト、調布市文化コミュニティ振興財団「アール・ブリュットへようこそ」講師。2018年より一般社団法人 Arts and Creative Mind 代表理事。

アーティスト／アートディレクター／表現活動研究所ラスコー代表。1958年静岡県生まれ。美術家としての作品制作と同時に多様な分野で社会とアートをつなぐ活動をおこなう。表現活動ワークショップ、バリアフリーアートスタジオ、美術史WS、講演等で表現することの意味と大切さを伝えている。障害者のためのアートスタジオディレクション、展覧会企画・プロデュース、キュレーション、選考委員など多数務める。「岡本太郎とアールブリュット」(川崎市岡本太郎美術館)、『about me～わたしを知って～』『ビッグ・アイアートプロジェクト』(国際障害者交流センター)、埼玉県障害者アート企画展、日本財団 DIVERSITY in the ARTS 公募展、Art to you! 東北障がい者芸術全国公募展、宮崎県国文祭・芸文祭障がい者アート展ほか。NPO法人エイブル・アート・ジャパン理事、認定NPO法人アール・ドゥ・ヴィーヴル理事、一般社団法人 Art Inter Mix 代表、一般社団法人 Get in touch 理事。

[主催]

ARTPARA
FUKAGAWA

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭実行委員会
〒135-0045 東京都江東区古石場 3-11-17 福島デザイン内 アートパラ深川事務局
TEL: 03-4400-9298
Email: competition@artpara-fukagawa.tokyo

一般社団法人アートパラ深川
〒135-0045 東京都江東区古石場 3-11-17 福島デザイン内
<https://www.artpara-fukagawa.tokyo/>

応募用紙

記入日 2024 年 月 日

氏名	ふりがな	年齢	
		(歳)	
※氏名とは別に 表示したい 作家名がある場合	ふりがな		
所属	会社名／施設名／アトリエ名／学校名など 特にない場合は自宅と記入		
連絡先	住所 〒	—	(マンションなどの場合は建物名・部屋番号までご記入ください)
		都・道 府・県	
	電話番号	メールまたは FAX	
作品題名	ふりがな		
作品について	<input type="checkbox"/> 平面作品	素材 (使った材料)	制作年
大きさ	たて () cm	よこ () cm	
その他	作品PRや 創作状況などを ご自由に お書きください		
※展示会・ウェブサイト等で開示してほしくない項目にチェック <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください			
<input type="checkbox"/> 本名 <input type="checkbox"/> 性別 <input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> 略歴や作品についての思い <input type="checkbox"/> 居住地			

応募写真台紙

氏名 または作家名	作品の大きさ (原画)	たて	よこ
作品名		()cm	× ()cm

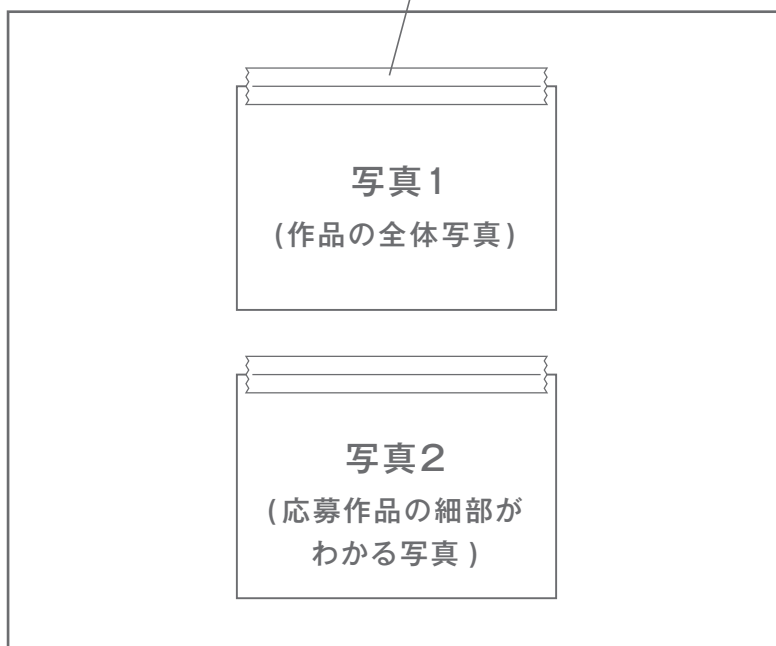
※写真はこの点線の枠内に貼り付けてください

【写真の枚数と貼付の方法】

※この説明の上に写真を貼ってください

- [平面作品] 1点につき**2枚** (全体が把握できる写真1枚と細部を写した写真1枚)
- 写真のサイズは**L版** (89mm×27mm) もしくは**ハガキ大**
- 写真の裏に「氏名」「作品名」を明記してください
- セロハンテープ等の透明テープで「写真の上辺のみ」をしっかりと台紙に貼り付けてください
- 応募用紙、応募写真台紙を同封の上、お送りください

セロハンテープ等



全体写真の上に細部写真を下に貼り付けて、合計2枚貼り付ける。